

# 2018年度 決算説明会

第95期（2018年4月1日～2019年3月31日）

2019年5月22日



太平洋互業株式会社

# 目次

1. 会社概要
2. 2018年度実績ならびに  
2019年度予想
3. 中期経営計画（2018年度～2020年度）

## 本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想と大幅に異なる可能性があります。

# 1-1 当社の主な事業

## プレス・樹脂製品事業

## バルブ製品事業

### プレス製品



### バルブ製品



### 樹脂製品



### TPMS製品



# 1-2 グループ会社の概要

国内8工場、連結子会社18社、海外8カ国で事業展開

JCR格付  
A-(安定的)

## プレス・樹脂製品事業

## バルブ製品事業

## その他

個別

中部	西大垣工場	東大垣工場	北大垣工場	美濃工場
		養老工場		
九州	九州工場			
東北	栗原工場	若柳工場		

国内連結子会社
ピーアイシステム(株)
太平洋産業(株)

連結

台湾	太平洋汽門工業股份有限公司
タイ	Pacific Industries (Thailand) Co., Ltd
	★ Pacific Auto Parts (Thailand) Co., Ltd
米国	Pacific Manufacturing Ohio, Inc.
	Pacific Manufacturing Tennessee, Inc.
	★ Schrader-Bridgeport International, Inc.
中国	天津太平洋汽車部件有限公司
	太平洋汽車部件科技(常熟)有限公司
	長沙太平洋半谷汽車部件有限公司
韓国	太平洋バルブ工業株式会社
	太平洋エアコントロール工業株式会社
ベルギー	★ Pacific Industries Europe NV/SA
フランス	★ Schrader SAS
イギリス	★ UK Service Office (支店)

持株会社等
Pacific Industries USA Inc.
太平洋工業(中国)投資有限公司
★ August France Holding Company SAS

★ 18年度新規連結5社

日本(持分法適用会社)

PECホールディングス株式会社

# 1-3 コーポレート・ガバナンス

## コーポレートガバナンス・コード改定に伴う体制強化

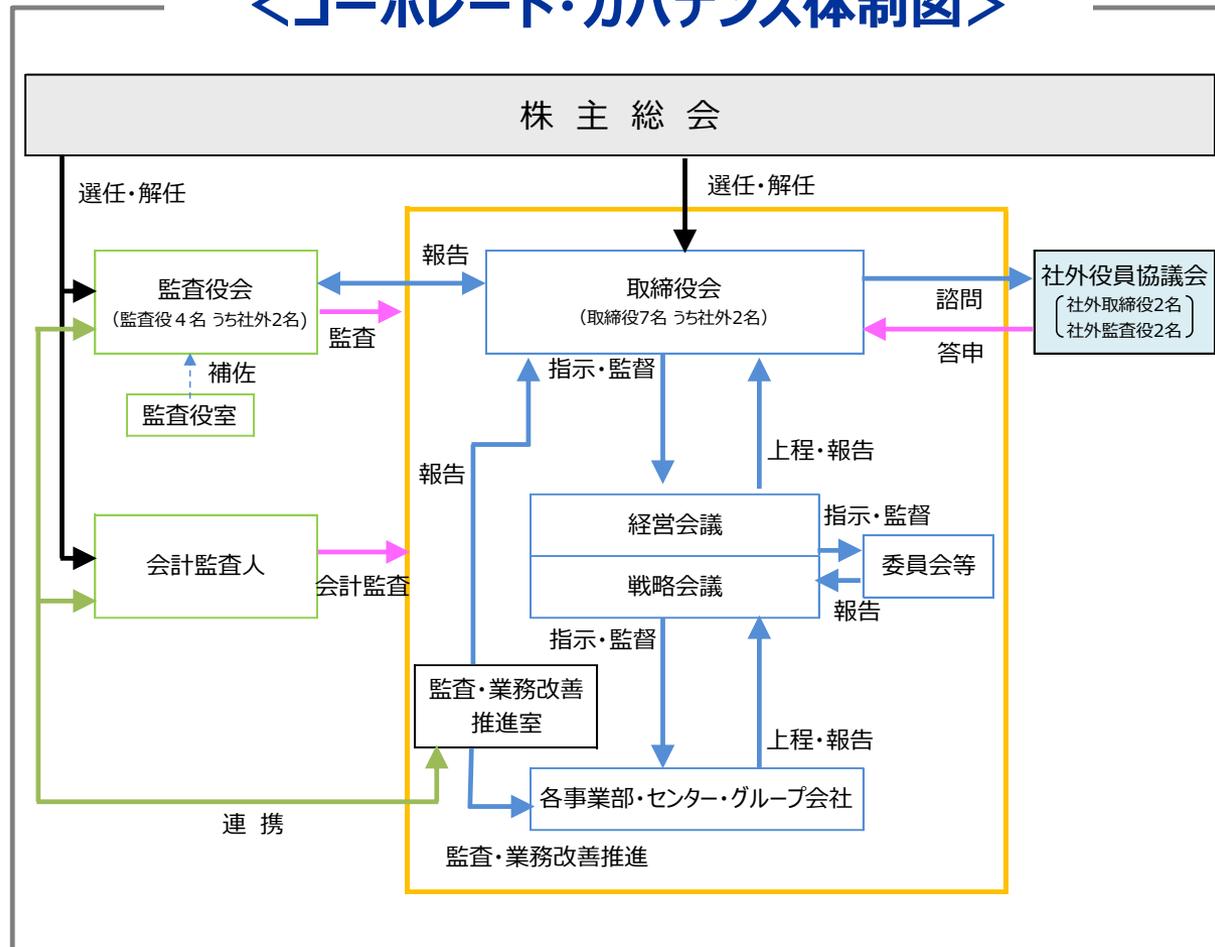
### ■ 女性社外取締役候補の選任

- ・取締役会の多様性を確保するための体制構築

### ■ 社外役員協議会の設置

- ・諮問委員会として、取締役の指名・報酬等を協議する体制に変更

＜コーポレート・ガバナンス体制図＞



# 1-4 譲渡制限付株式報酬制度の導入

## ストックオプション制度を廃止し、新株式報酬制度を導入

<譲渡制限付株式報酬制度の内容>

対 象 者	当社の取締役（社外取締役を除く）
株 式 報 酬 枠	年額50百万円以内
割り当てる株式の種類 および 割 り 当 て 方 法	普通株式（割当契約において譲渡制限を付したものを）を発行 または処分
割り当てる株式の総数	対象取締役に対して、合計で年50,000株以内
譲 渡 制 限 期 間	割当日より3年から50年の間で当社取締役会が予め定める期間
譲 渡 制 限 の 解 除 条 件	譲渡制限期間の満了をもって制限を解除 ただし、任期満了、死亡その他正当な理由により退任した場合、 譲渡制限を解除

<ご参考> 執行役員にも、上記と同様の譲渡制限付株式報酬制度を適用する予定です。

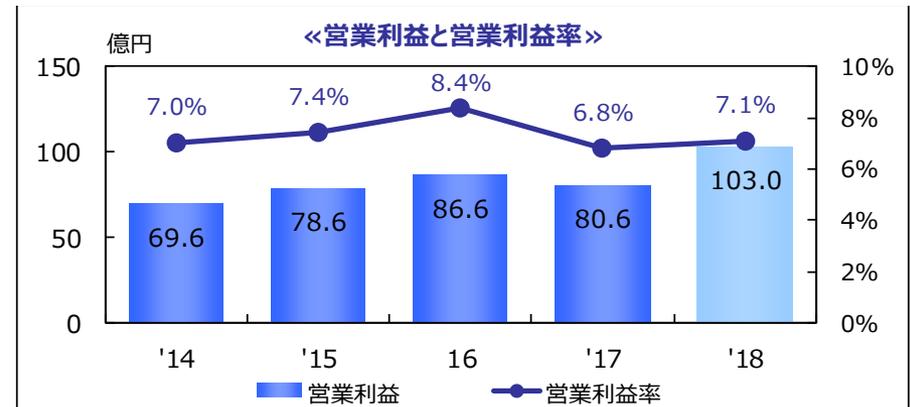
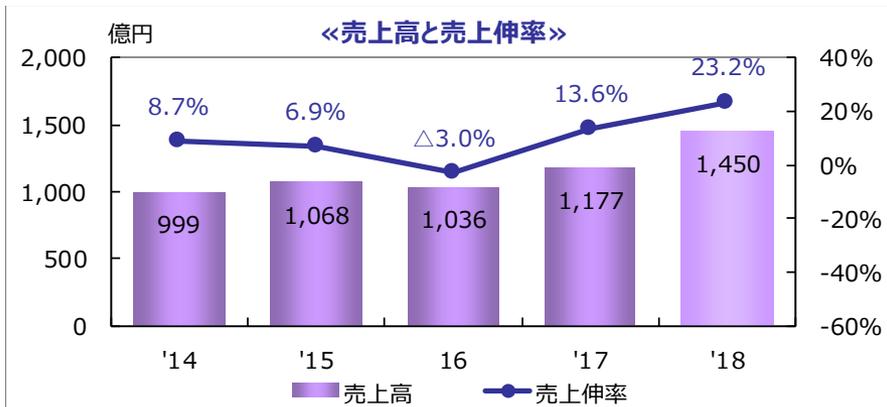
# 2-1 連結業績実績

[百万円]

	17年度	18年度							
		19年1月 発表値	実績	連単 倍率	前期比		発表値比		
					増減	増減率	増減	増減率	
売上高	過去最高 117,758	138,000	過去最高 145,030	1.7	27,272	23.2%	7,030	5.1%	
営業利益	8,063	9,600	過去最高 10,307	1.7	2,244	27.8%	707	7.4%	
経常利益	9,485	10,800	過去最高 11,767	1.5	2,281	24.1%	967	9.0%	
※1 親会社 当期純利益	7,393	7,800	過去最高 8,730	1.5	1,336	18.1%	930	11.9%	
売上高 営業利益率	6.8%	7.0%	7.1%	/	0.3%	/	0.1%	/	
ROE	8.5%	—	9.3%	/	0.8%	/	—	/	
ROA (営業利益ベース)	※2 5.4%	—	5.7%	/	0.3%	/	—	/	
一株当り 純資産	(円) 1,508	—	1,590	/	81	/	—	/	

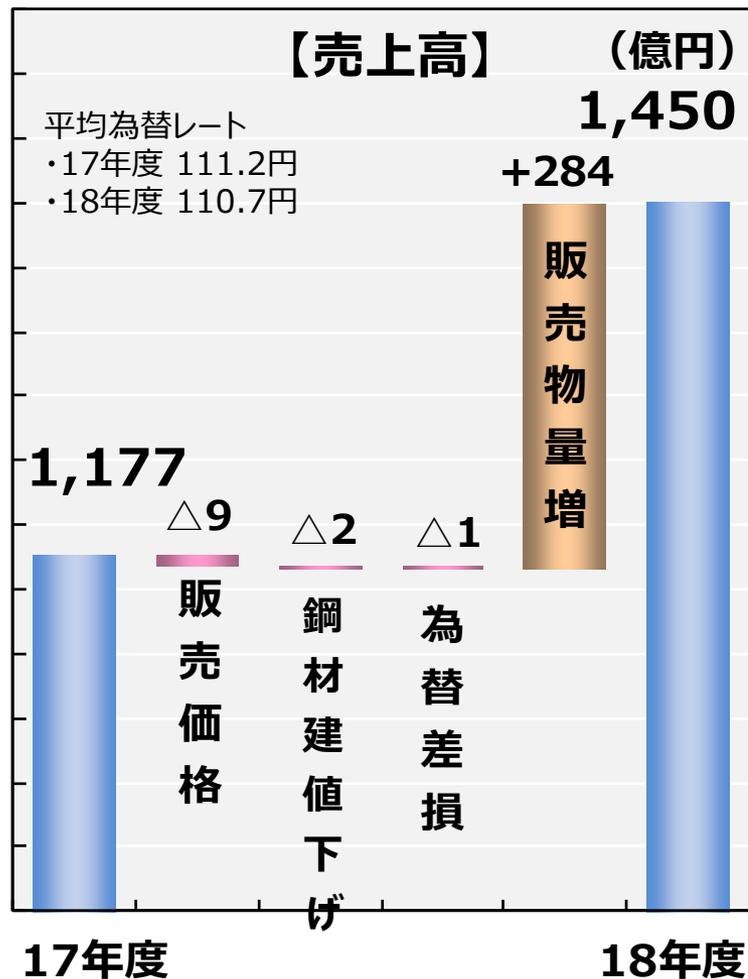
※1.「親会社当期純利益」は、正式名称である「親会社株主に帰属する当期純利益」を短縮して表示しております。

※2.「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を18年度から適用しており、17年度末の財務の状況に遡及適用しております。

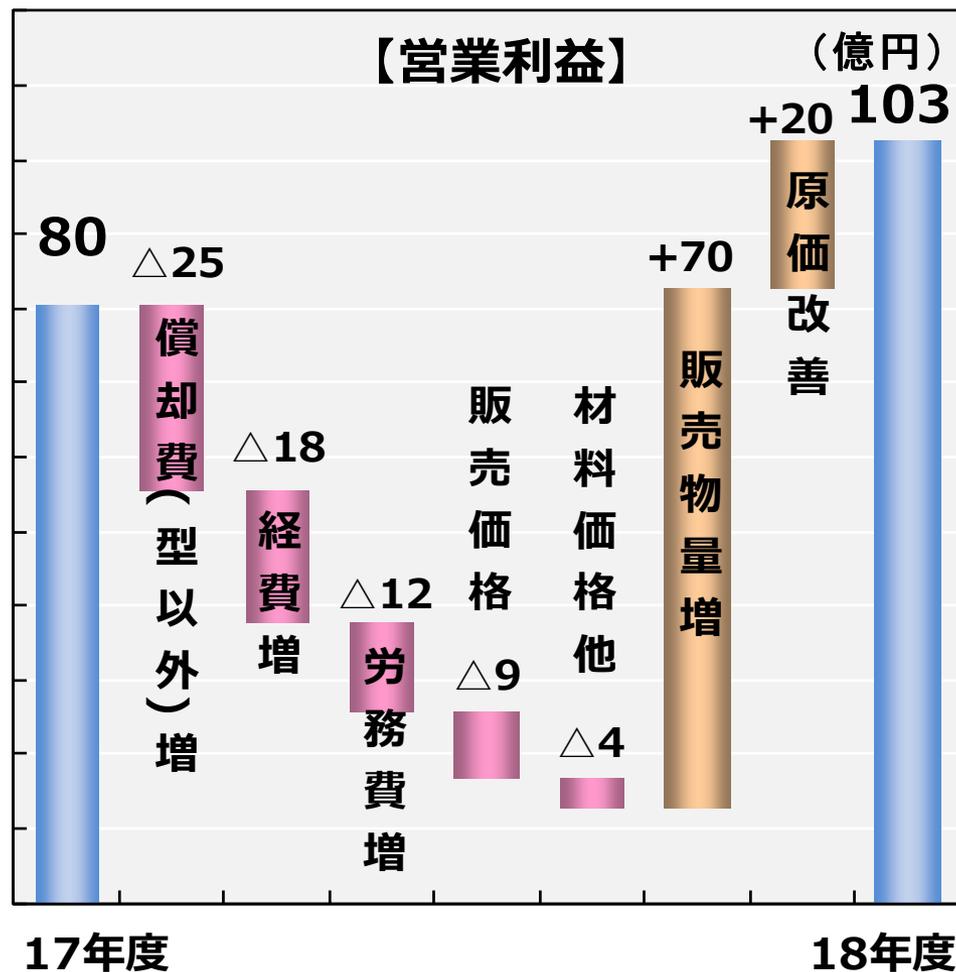


## 2-2 連結売上高・営業利益増減要因

≪18年度 対 17年度≫  
売上高 +272億円



≪18年度 対 17年度≫  
営業利益 +22億円



## 2-3 連結業績予想

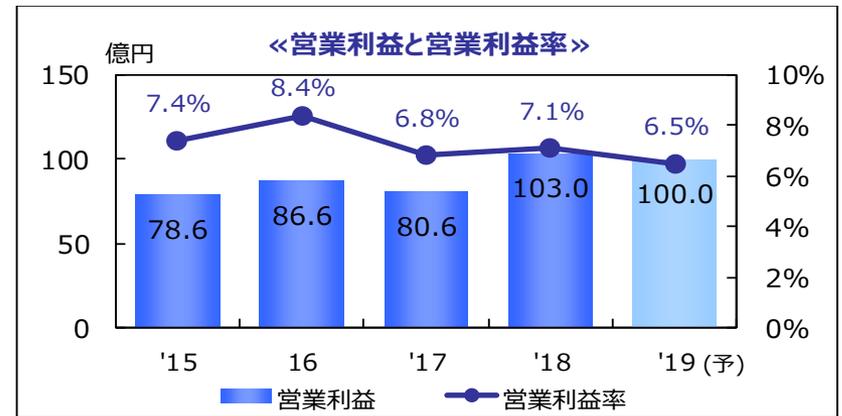
☆最高更新見込み

[百万円]

	17年度		18年度				19年度		
			実績	連単 倍率	前期比		予想	前期比	
					増減	増減率		増減	増減率
売上高	過去最高 117,758	過去最高 145,030	1.7	27,272	23.2%	☆ 155,000	9,970	6.9%	
営業利益	8,063	過去最高 10,307	1.7	2,244	27.8%	10,000	△307	△3.0%	
経常利益	9,485	過去最高 11,767	1.5	2,281	24.1%	11,000	△767	△6.5%	
※1 親会社 当期純利益	7,393	過去最高 8,730	1.5	1,336	18.1%	8,000	△730	△8.4%	
売上利益 高率	6.8%	7.1%		0.3%		6.5%	△0.6%		
ROE	8.5%	9.3%		0.8%		8.1%	△1.2%		
ROA (営業利益ベース)	※2 5.4%	5.7%		0.3%		4.8%	△0.9%		
一株当り 純資産	(円) 1,508	1,590		81		1,699	109		

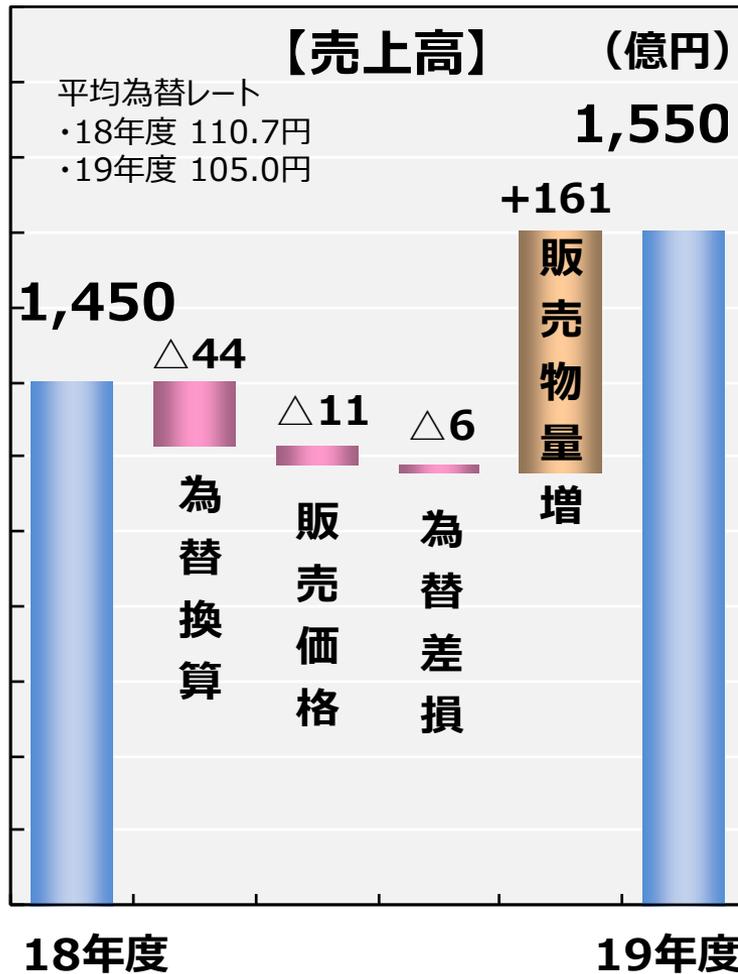
※ 1.「親会社当期純利益」は、正式名称である「親会社株主に帰属する当期純利益」を短縮して表示しております。

2.「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を18年度から適用しており、17年度末の財務の状況に遡及適用しております。

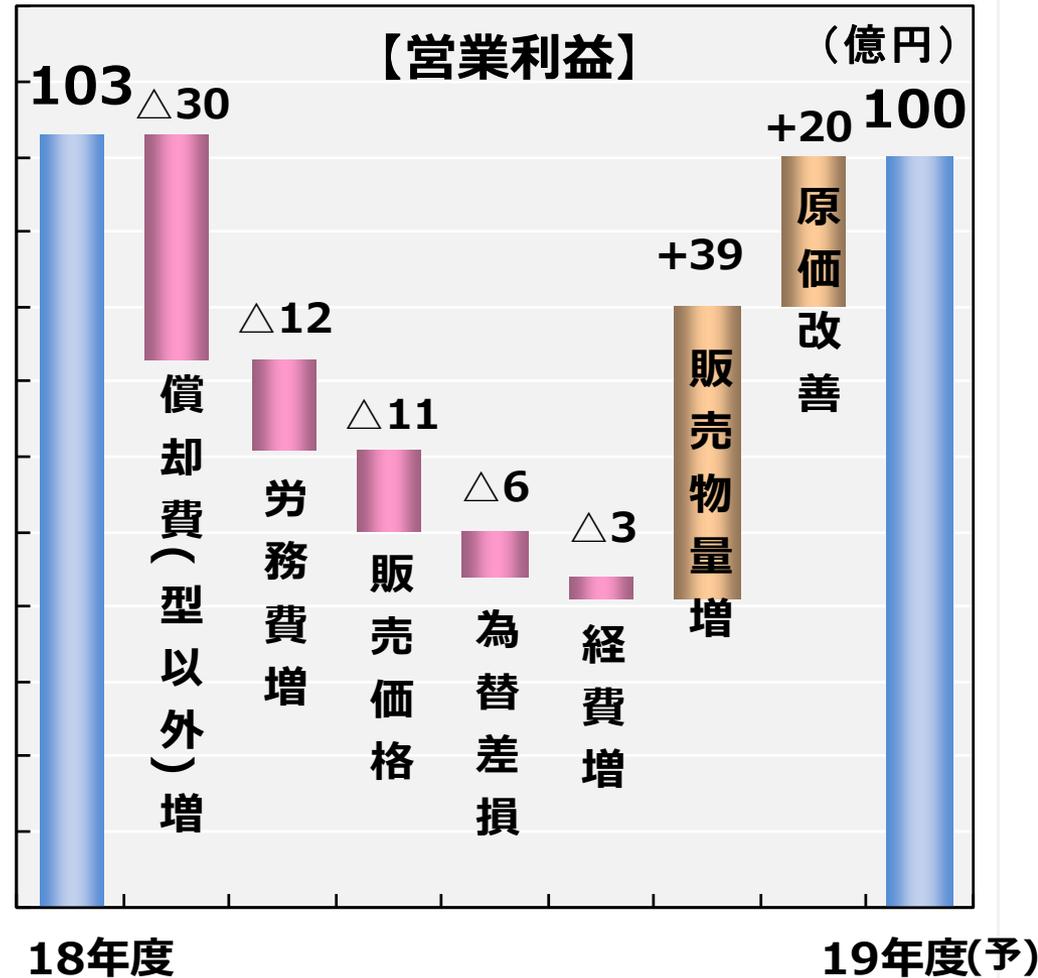


## 2-4 連結売上高・営業利益増減要因(予想)

«19年度予想 対 18年度»  
売上高+99億円



«19年度予想 対 18年度»  
営業利益△3億円



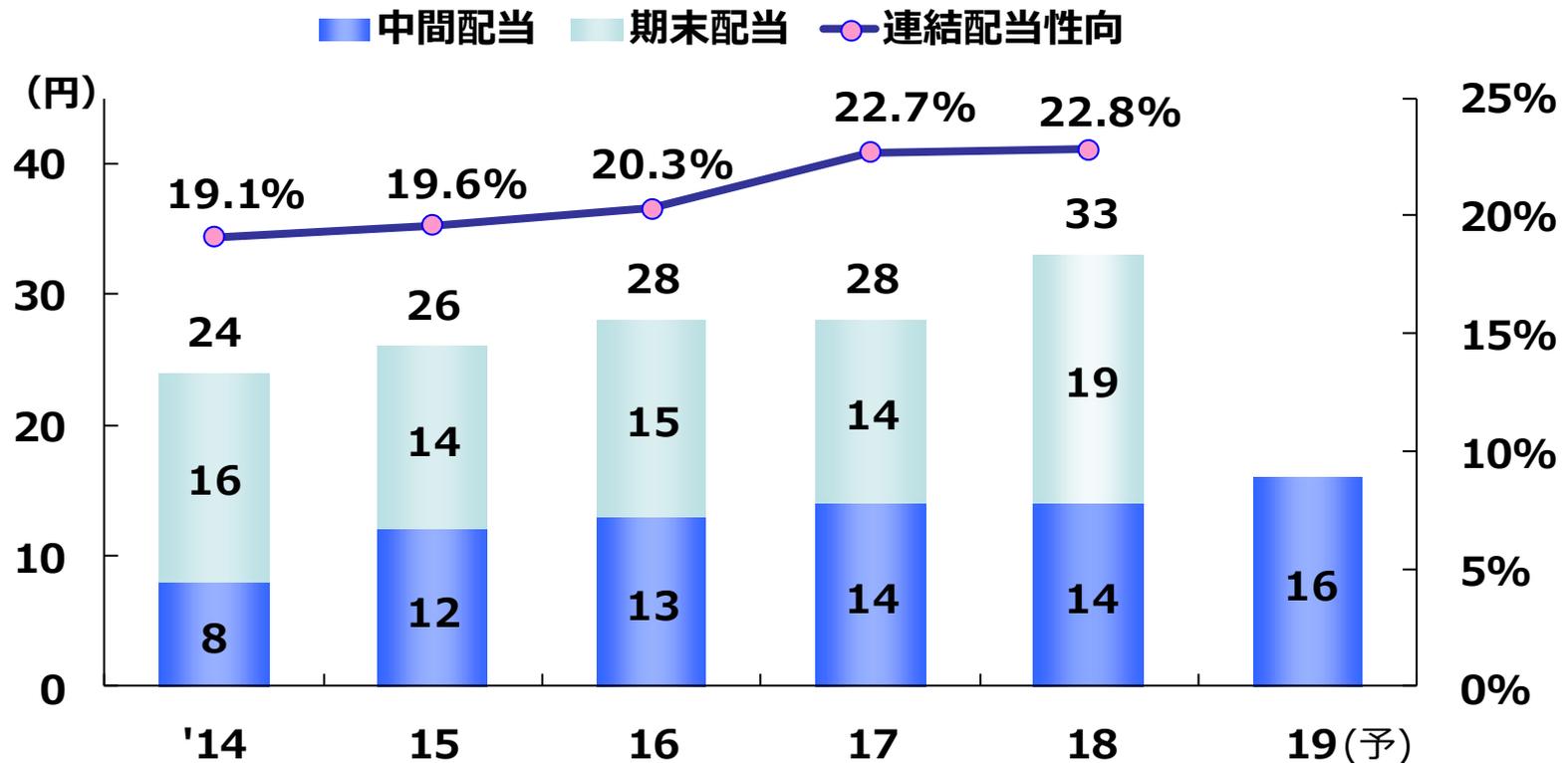
## 2-5 株主還元

増益に伴い、配当も増額（19年度は未定）

### ■ 年間配当

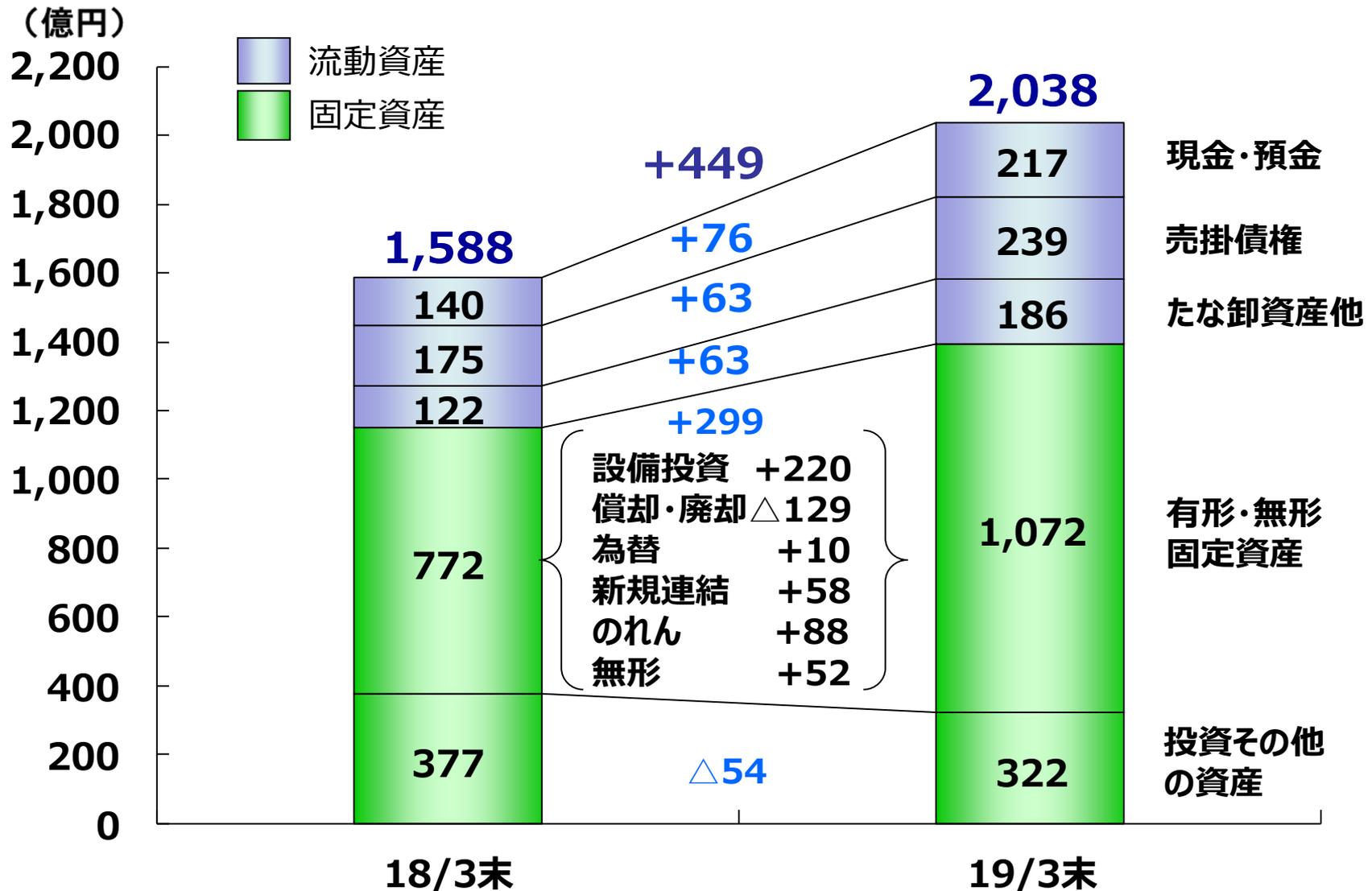
2018年度 年間：33円（中間：14円、期末：19円）

2019年度予想 年間：未定（中間：16円、期末：未定）



## 2-6 連結総資産増減内訳

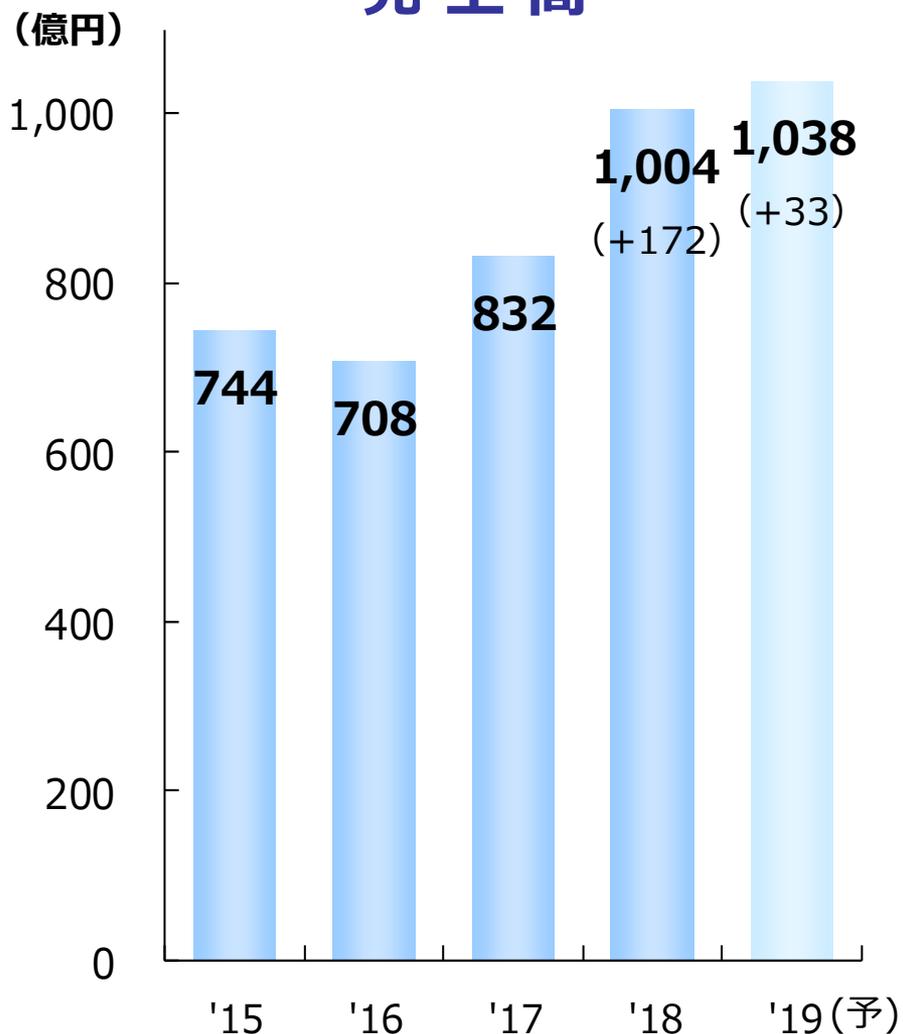
戦略的な設備投資・SCHRADER連結により固定資産が増加



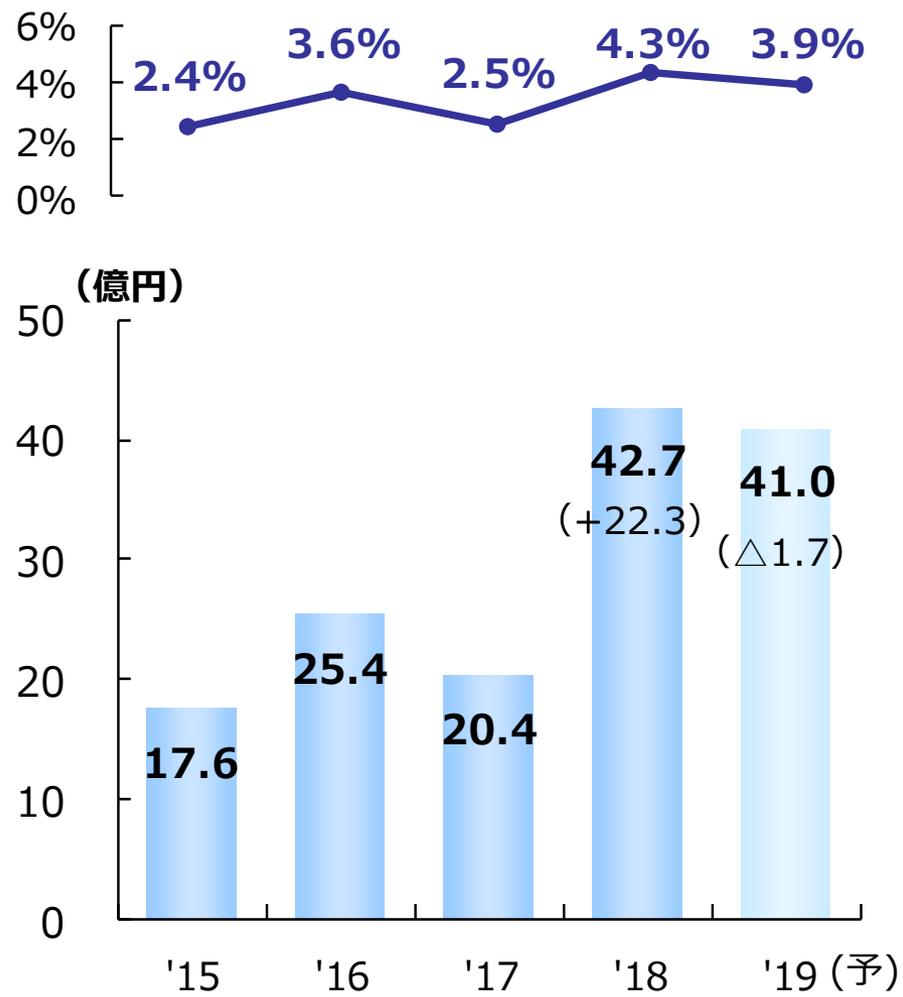
## 2-7 事業別セグメント：プレス樹脂製品事業

新製品売上が寄与し増収、償却負担等により減益

### 売上高



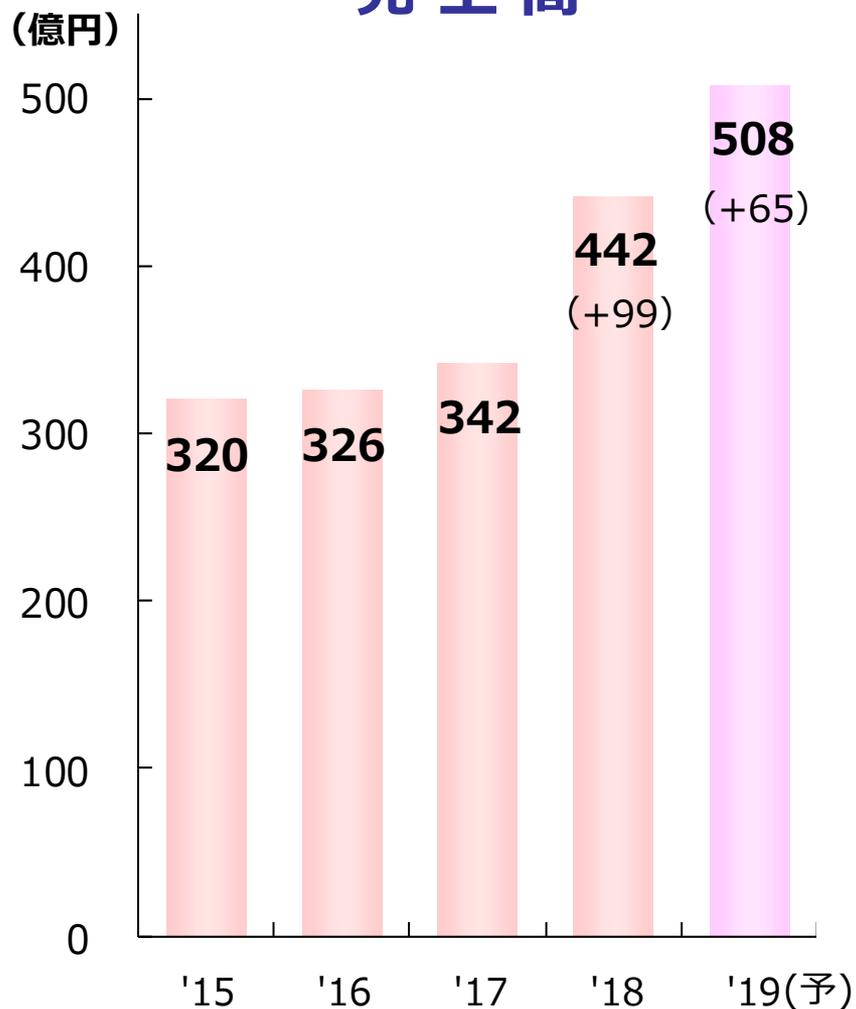
### 営業利益



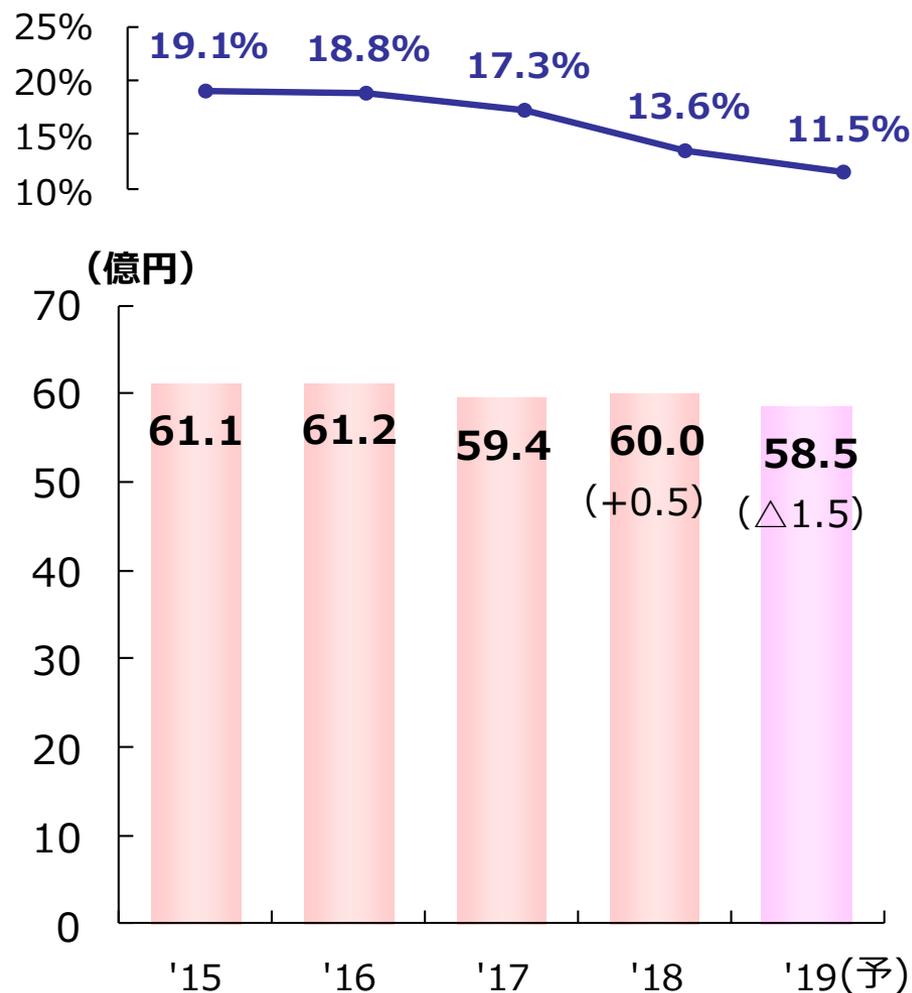
## 2-8 事業別セグメント：バルブ製品事業

為替差損・のれん償却等により、利益は微減

### 売上高



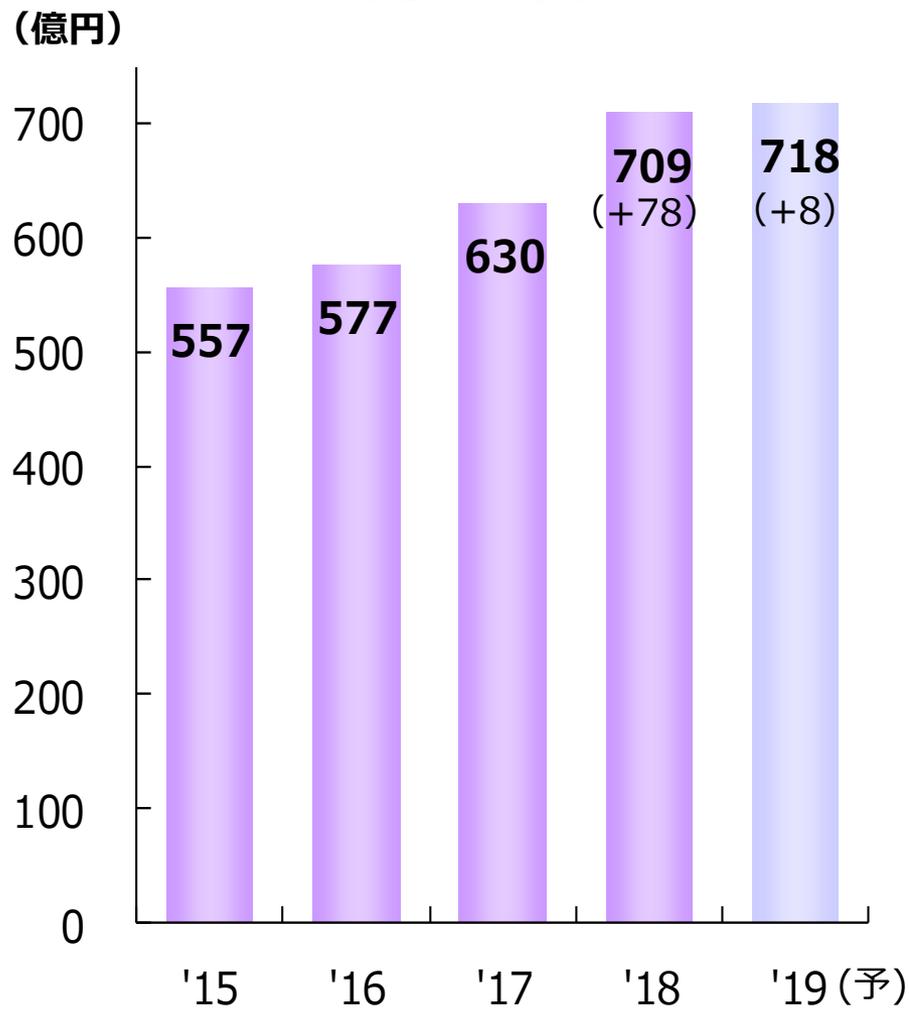
### 営業利益



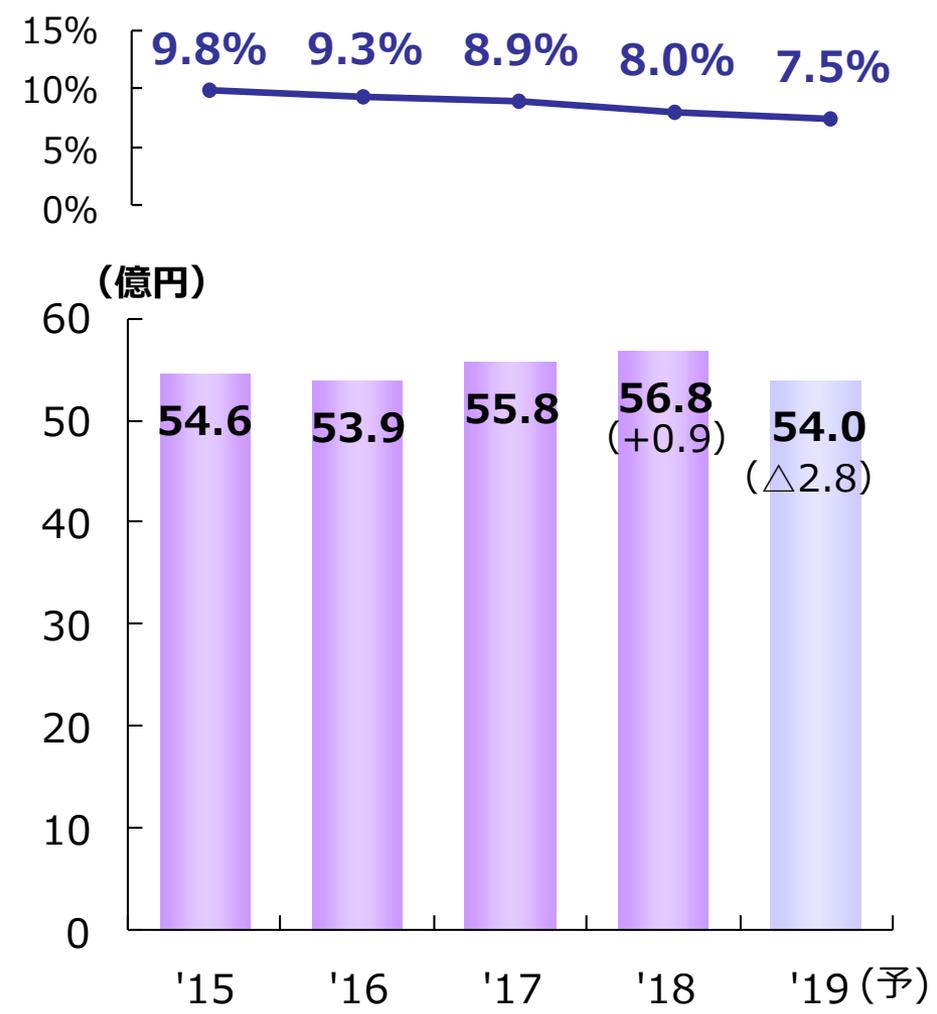
# 2-9 地域別セグメント：日本

売上高は増収、償却増・為替差損等により減益

### 売上高



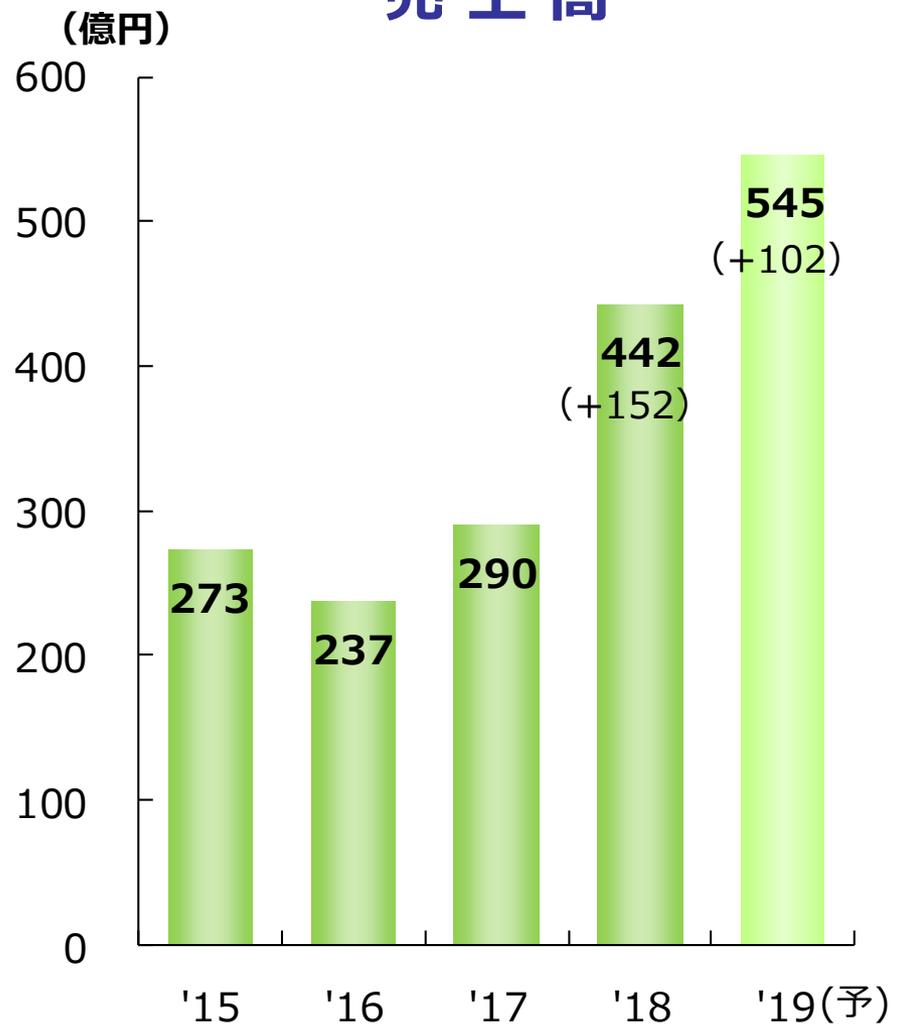
### 営業利益



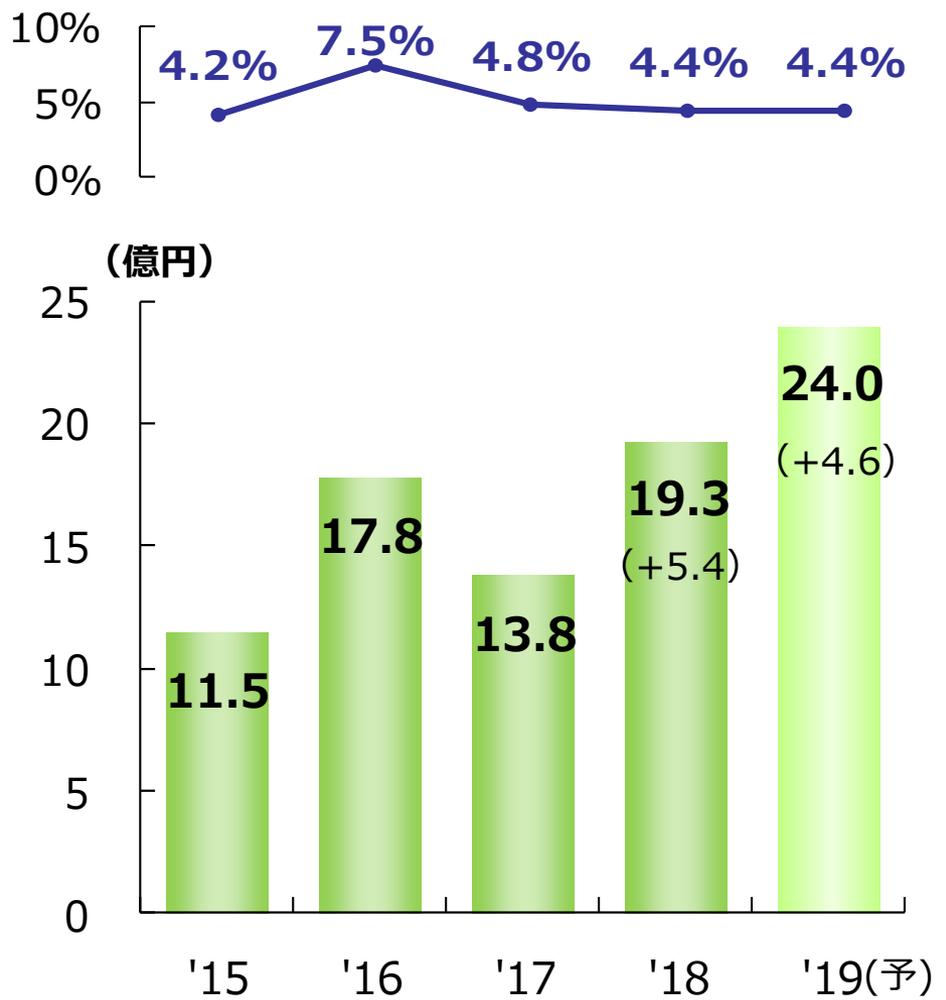
# 2-10 地域別セグメント：欧米

事業取得、プレス樹脂事業拡販により増収増益

### 売上高



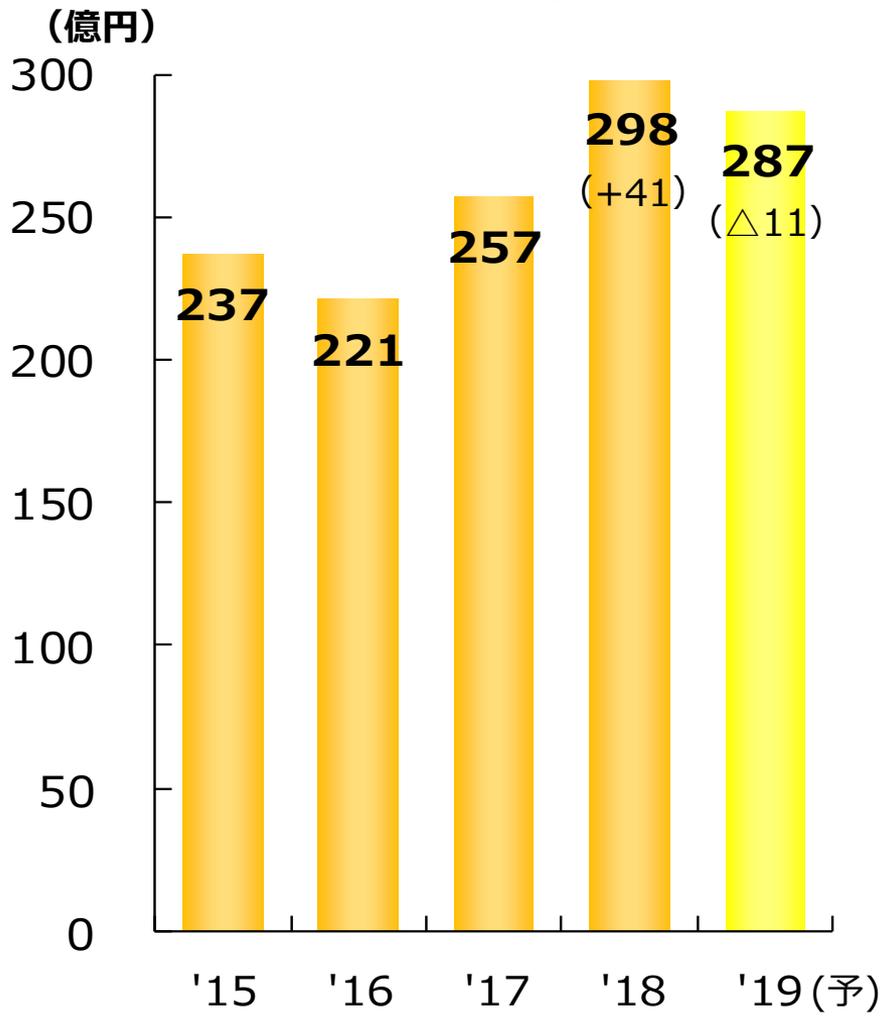
### 営業利益



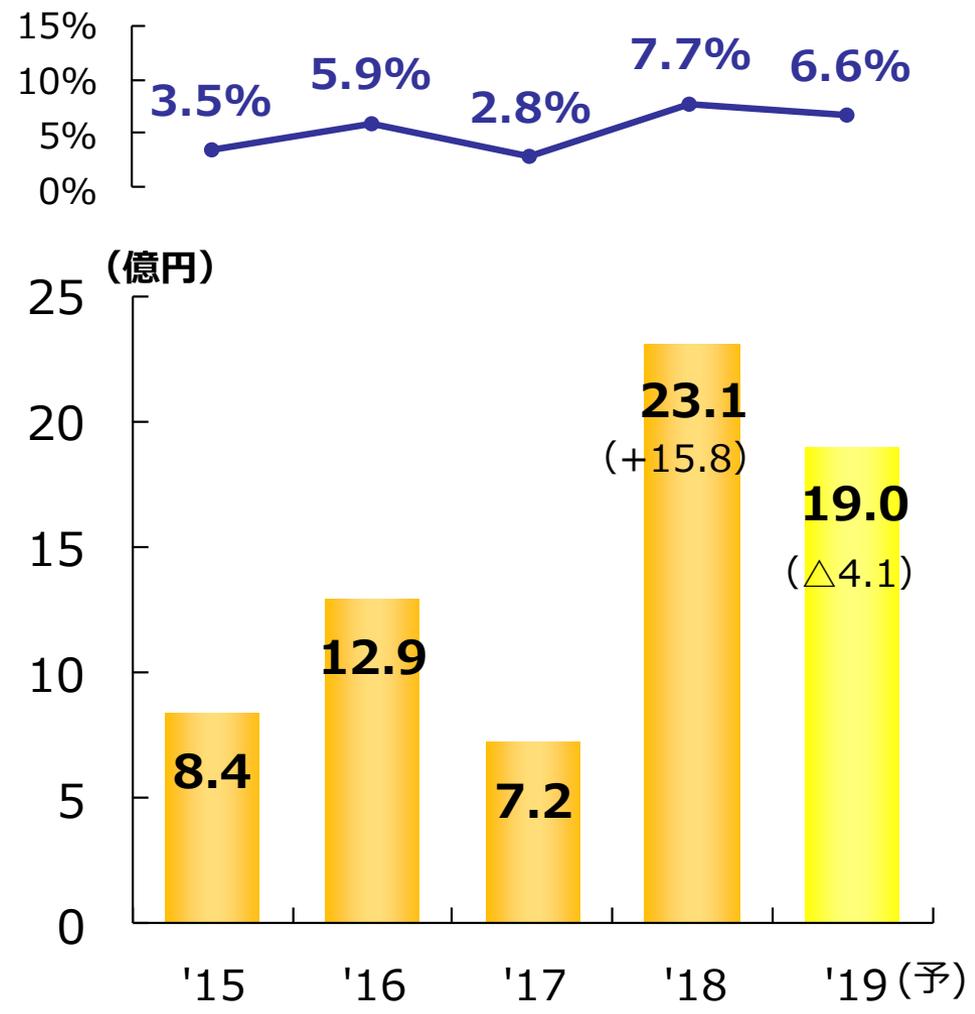
# 2-11 地域別セグメント：アジア

為替差損・タイ新設子会社の償却費増により減益

### 売上高

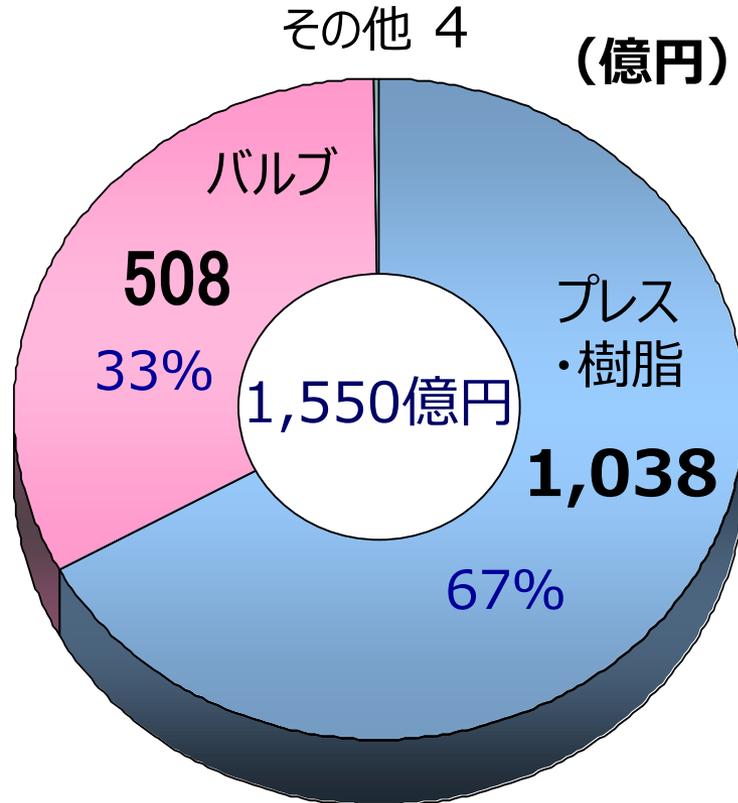


### 営業利益



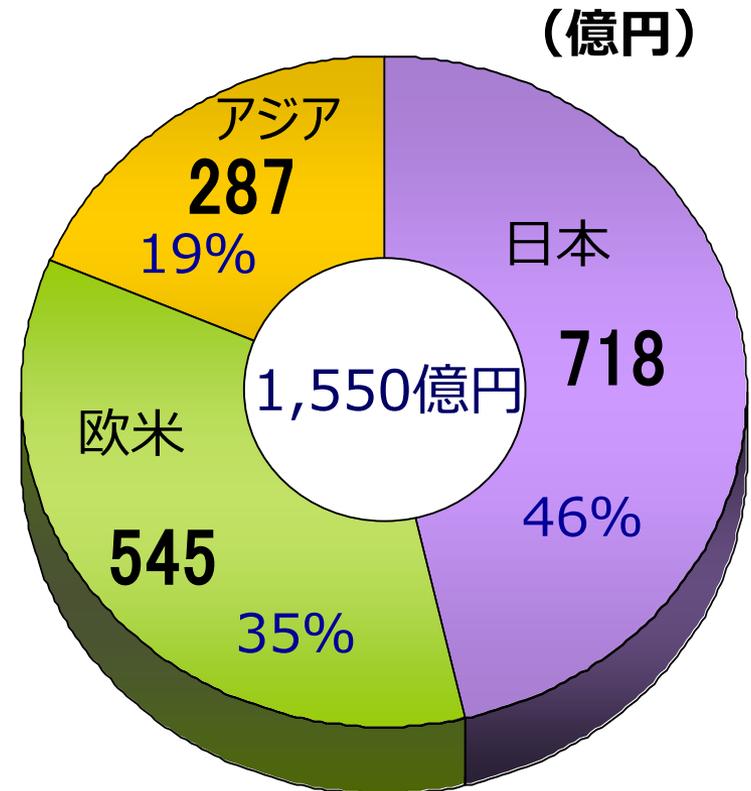
# 2-12 2019年度 連結セグメントの予想

## 事業別売上高



- 【プレス樹脂事業】 自動車用プレス・樹脂製品
- 【バルブ事業】 タイヤバルブ、空調用等バルブ、TPMS
- 【その他】 情報・サービス

## 地域別売上高

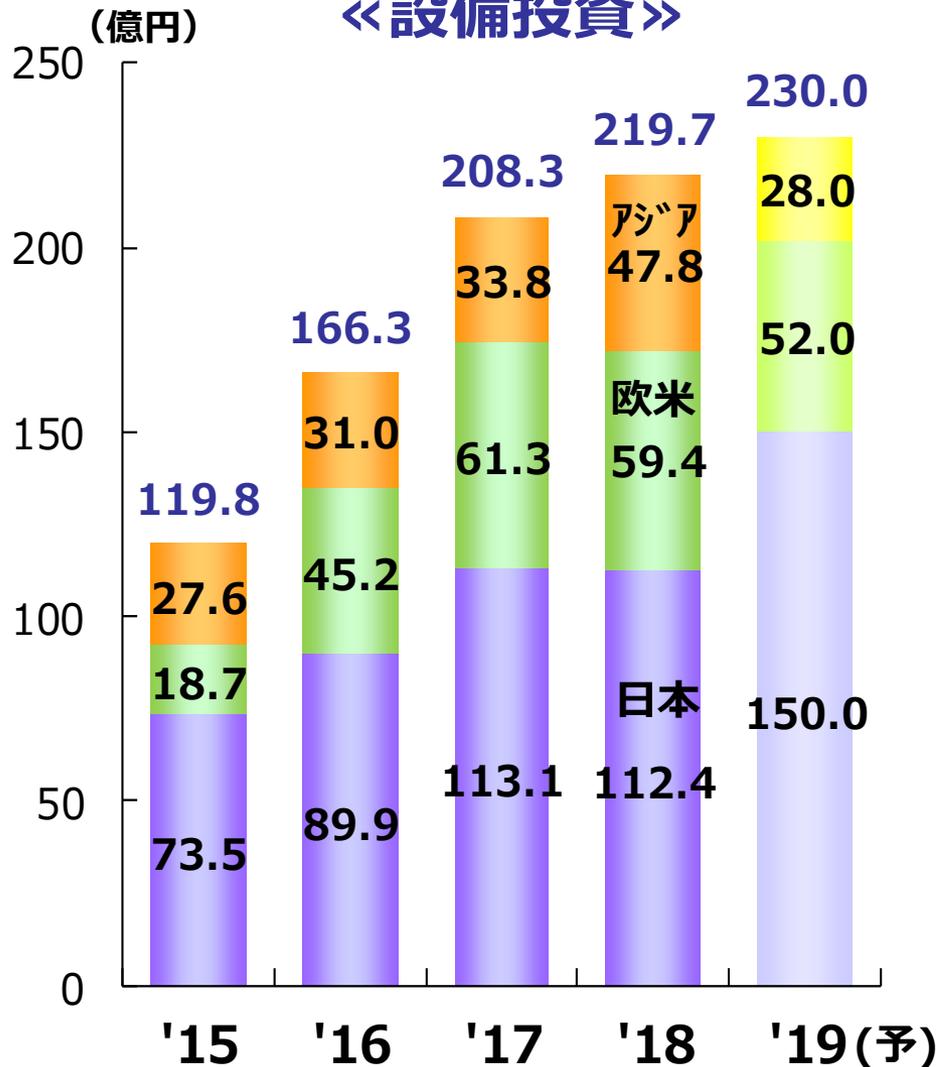


- 【日本】 大垣・九州・東北の3拠点体制
- 【欧米】 米国・フランス・ベルギー
- 【アジア】 台湾・韓国・タイ・中国

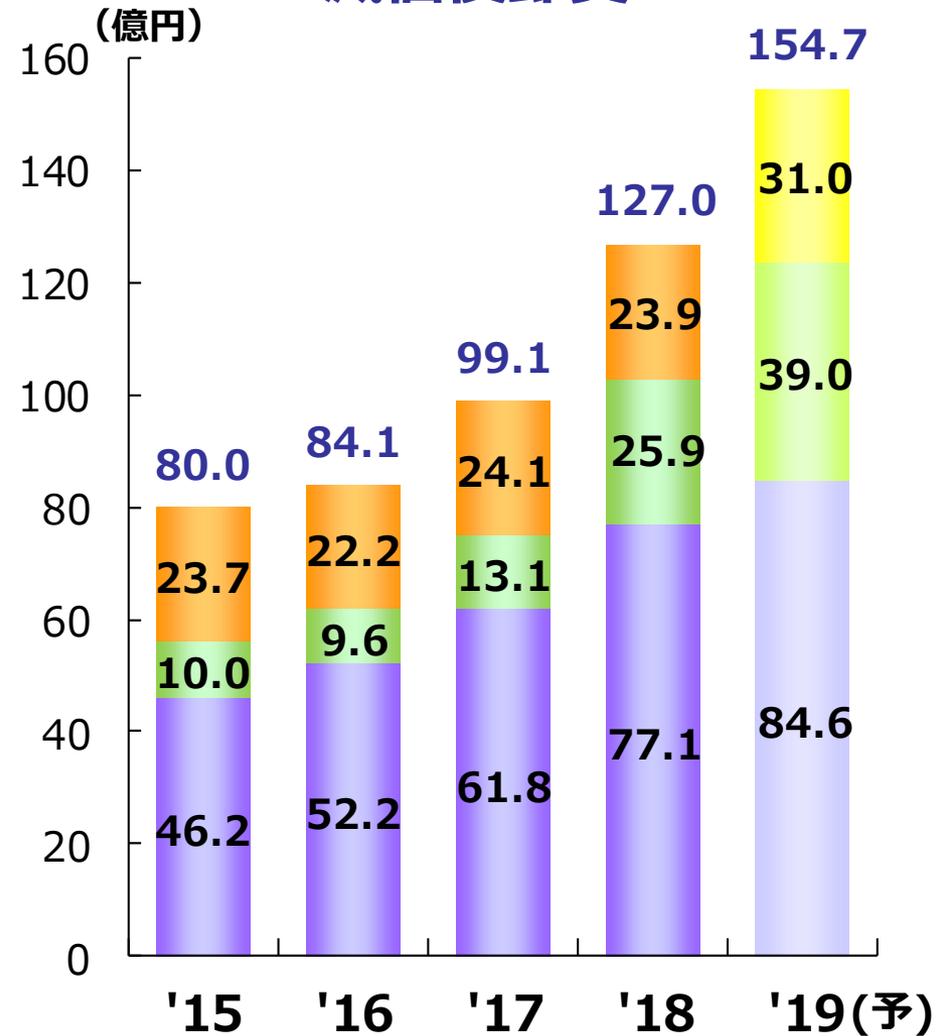
# 2-13 連結設備投資・減価償却費予想

戦略的な設備投資により、償却費が増加

《設備投資》



《減価償却費》

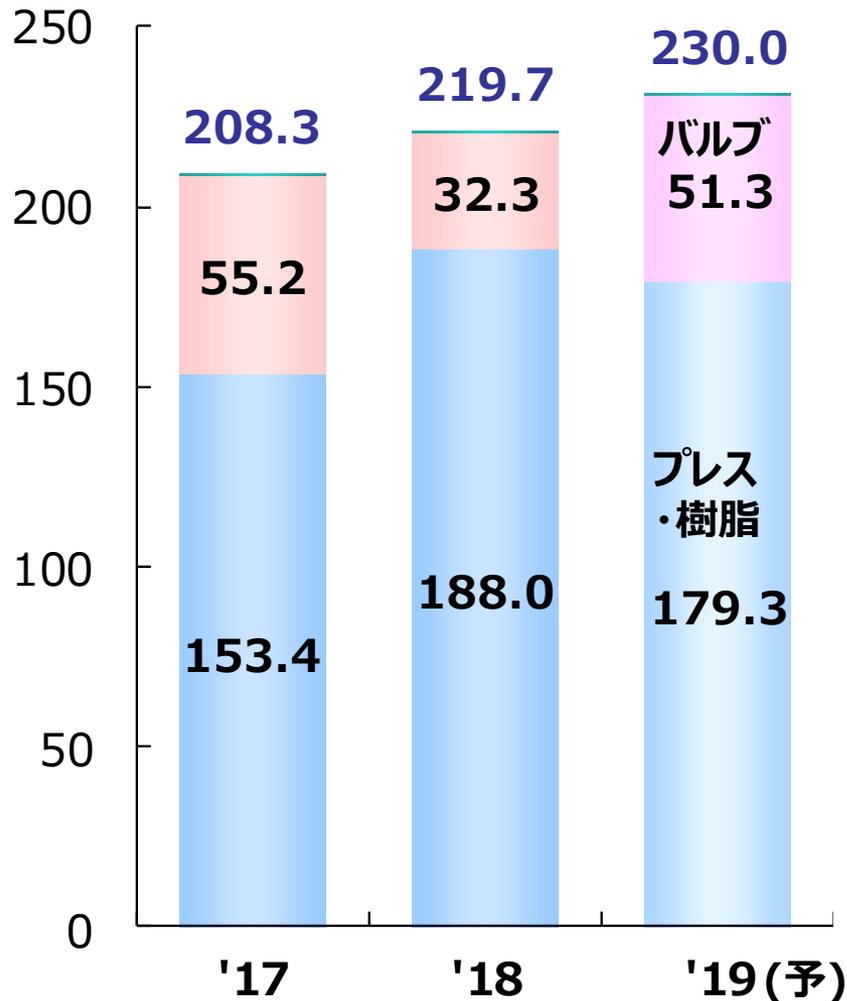


## 2-14 主な戦略投資の内容

### 超ハイテン・TPMS等、戦略的投資を推進

#### 「設備投資」(年間)

(億円)



#### 「主要アイテム」

##### ■バルブ事業

日本:鍛圧能力増強

韓国:アルミダイカスト能力増強

米国・中国:TPMSライン増設

SCHRADERシナジー投資

##### ■プレス・樹脂事業

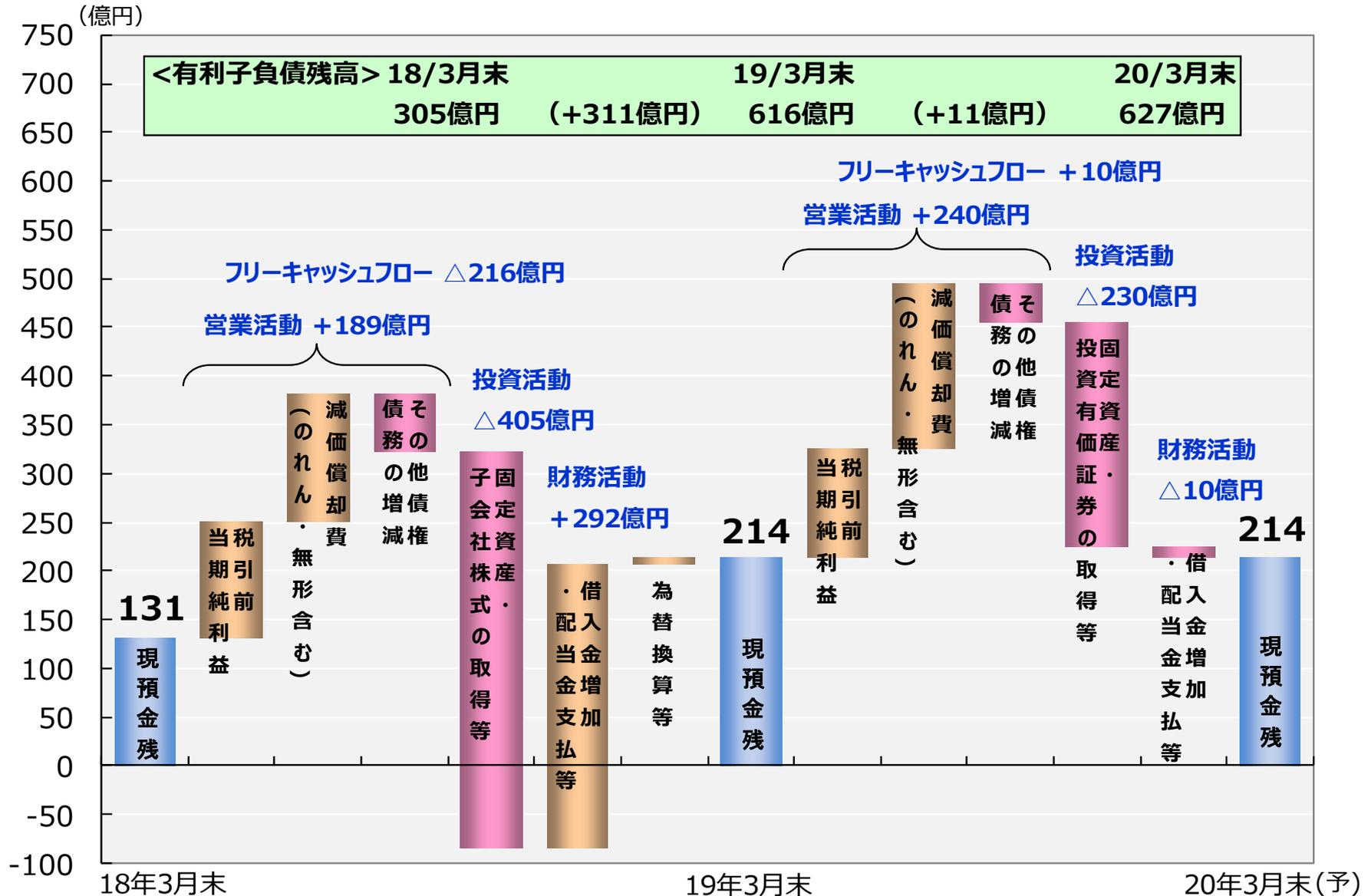
日本・台湾・中国・タイ・米国

:冷間超ハイテン用大型プレス

米国:ホットスタンプ

他、新規製品立上げのための投資等

# 2-15 連結キャッシュフロー予想

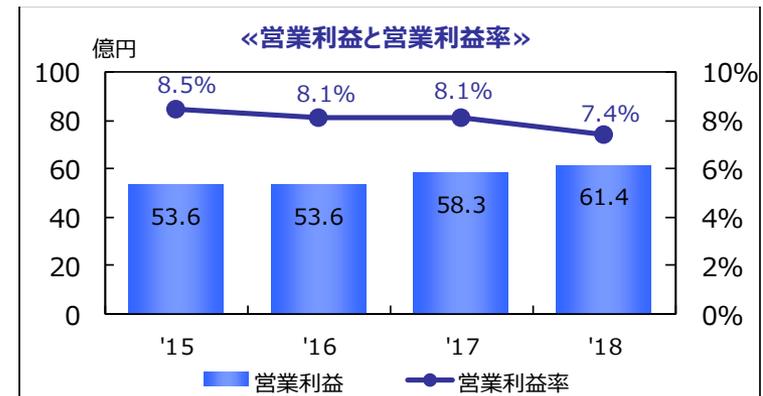
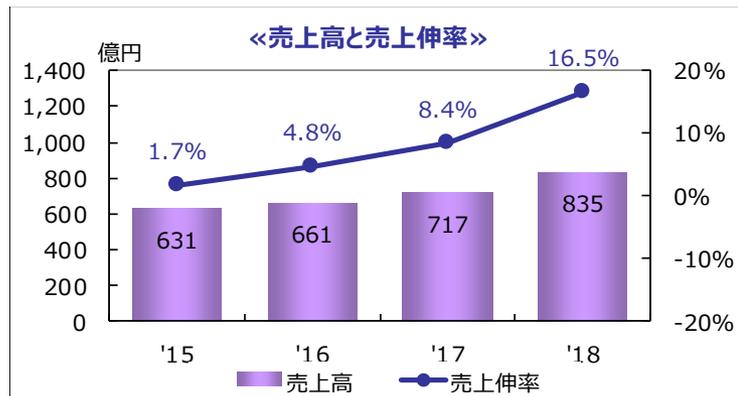


# 2-16 <参考> 個別業績実績

[百万円]

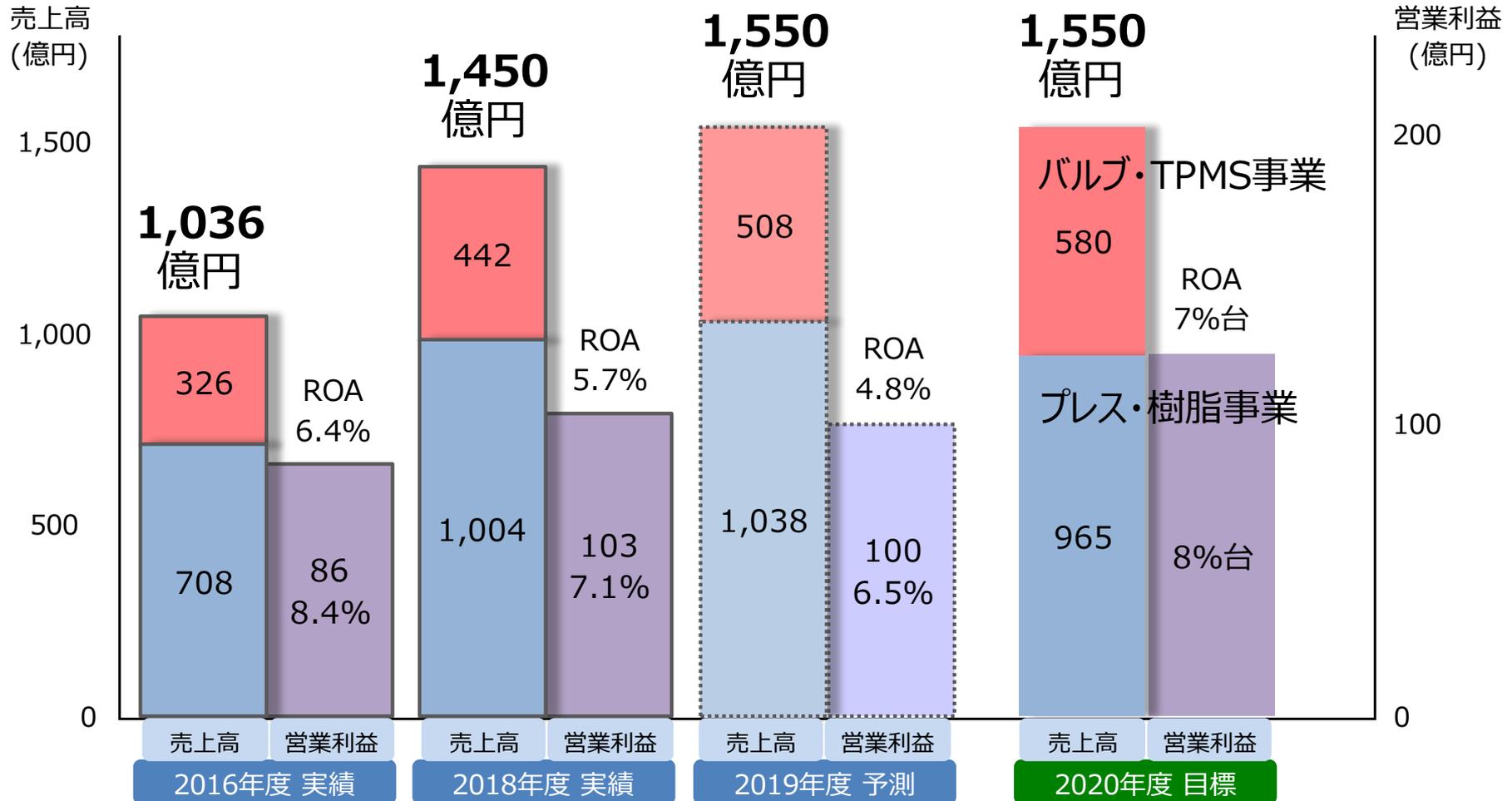
	17年度	18年度			
		実績	前期比		
			増減	増減率	
売上高	過去最高 71,715	過去最高 83,562	11,846	16.5%	
営業利益	過去最高 5,835	過去最高 6,146	310	5.3%	
経常利益	過去最高 7,210	過去最高 7,871	660	9.2%	
当期純利益	5,284	過去最高 5,895	610	11.6%	
配当金（1株当たり）	28	33	5	17.9%	
売上利益高率	8.1%	7.4%	△0.7%	/	
ROE	7.9%	8.3%	0.4%		
ROA （営業利益ベース）	※1 5.1%	4.5%	△0.6%		
一株当たり 純資産	（円） 1,142	1,191	48		

※ 1. 『税効果会計に係る会計基準』の一部改正等を18年度から適用しており、17年度末の財務の状況に遡及適用しております。



# 3-1 「OCEAN-20」進捗について

事業取得を加え、業容拡充を目指す



## 3-2 外部環境認識

### 100年に一度の大変革

#### 【規制強化】

- ・安全規制
- ・環境規制

#### 【業界動向】

- ・新興国市場拡大
- ・技術の多様化
- ・異業種参入
- ・ものづくり革新

安全性能・環境性能・快適性能の向上

CASE

MaaS

軽量化

Connected

Shared

Autonomous

Electric

- ・鉄の使い切り
- ・NV性能
- ・マルチマテリアル

モビリティ  
社会

当社方針

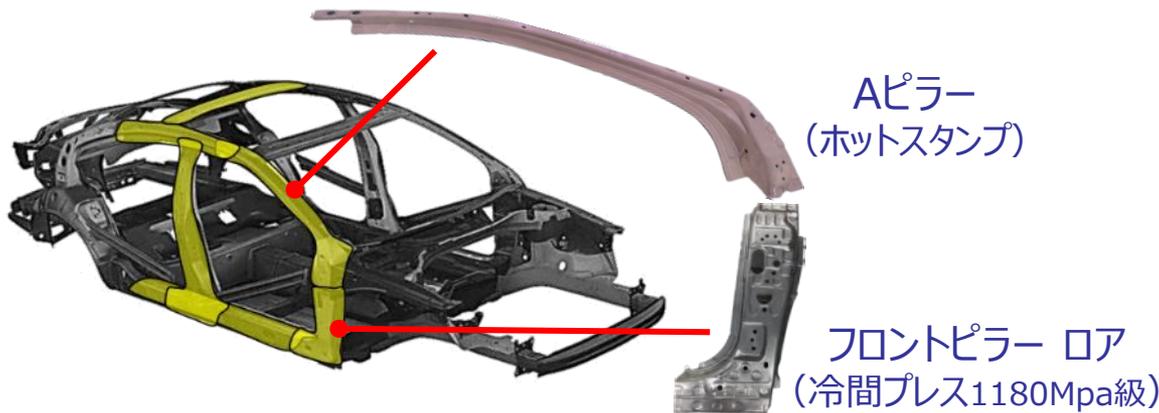
業界動向・顧客ニーズに応える技術開発・拠点整備

# 3-3 軽量化プレス製品の開発

## 車両軽量化のために骨格プレス部品を軽量化

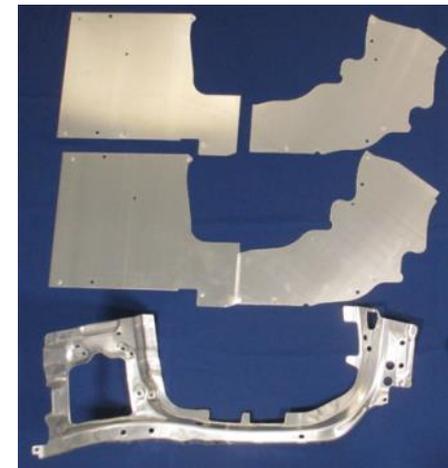
### ■ 衝突安全性を兼ね備えた軽量化

- ・工法の研究・開発を行い、形状が複雑な製品の超ハイテン化など、採用拡大の取組みを実施



### ■ 軽量化のための新工法(FSW)

- ・板厚の異なるアルミ材を接合後にプレス成形することで軽量化・低コスト化を実現



摩擦攪拌接合 (FSW)

### ■ 超ハイテン生産設備の整備状況

	日本			米国		中国	タイ	台湾
	大垣	九州	栗原	オハイオ	テネシー	天津	ラヨン	台中
冷間大型プレス	●	●	○	●	●	●	●	●
ホットスタンプ	●				●			

●:導入済み ○:導入中

# 3-4 快適・環境性能向上樹脂製品の提供

## 新素材・新工法で機能向上と軽量化を実現

### ■ 防音・防振技術の深化によりNV性能No.1へ

- ・ウレタン発泡製品のNV性能(※)向上により、エンジンカバー・インシュレーターへの採用拡大
- ・低騒音化・快適性向上に貢献
- ・コスト低減、軽量化を実現



オールウレタンエンジンカバー

### ■ 樹脂フィルム・加飾技術の取組み

- ・メッキに代わる、樹脂フィルム加飾技術により軽量化とリサイクル性(マテリアルリサイクル)を実現
- ・多様なニーズに応える加飾バリエーションの展開



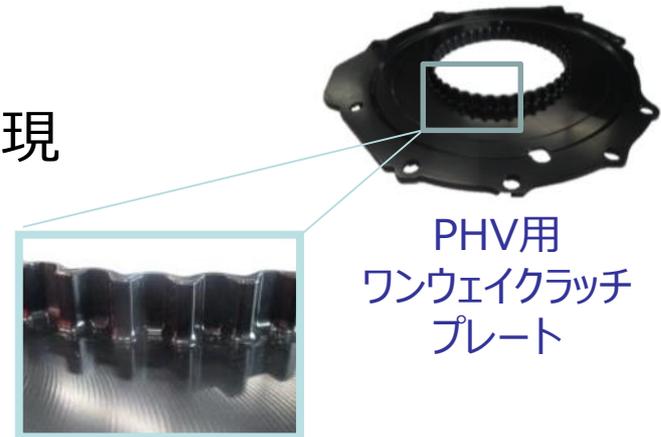
フィルム技術を用いた  
ホイールセンターオーナメント

(※)NV性能：Noise(騒音)、Vibration(振動)を低減する性能

# 3-5 鍛圧プレス・ダイカストで技術多様化

## 鍛圧プレス：複合技術で強度アップと軽量化

- ・板金成形と冷間鍛造を複合した板鍛造技術で「強度アップ」と「軽量化」を実現
- ・新型トランスミッション部品等に採用拡大
- ・養老工場を拡張し、米国オハイオ州拠点とともに、生産体制を拡充



PHV用  
ワンウェイクラッチ  
プレート

歯型成形

## ダイカスト：軽量化と多品種展開（韓国拠点）

- ・カーエアコン用コンプレッサー部品の一貫生産体制を構築
- ・電動コンプレッサー部品・電動パワステ部品への品目拡大



カーエアコン用コンプレッサー部品

# 3-6 新型車に搭載されるプレス・樹脂製品

## 新技術・新工法の採用状況



【プレス】

ハイブリッド車用  
バッテリーケース

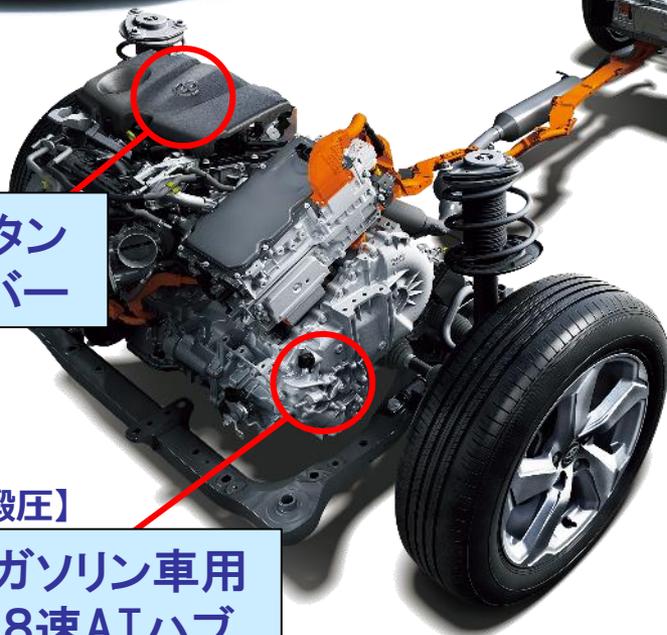
【プレス】

超ハイテン材部品  
冷間プレス工法  
ホットスタンプ工法



【樹脂】

オールウレタン  
エンジンカバー



【プレス】

摩擦攪拌接合(FSW)  
アルミ製部品



【鍛圧】

ガソリン車用  
8速ATハブ



# 3-7 安全・環境に寄与するTPMS製品の拡充

## 新製品開発と中国拠点での生産能力増強

### ■ TPMSの進化（Eタイプの開発）

- ・新型TPMS送信機を開発、量産開始
- ・送信部の小型・軽量化を実現
- ・バルブ部の取り外し、交換可能



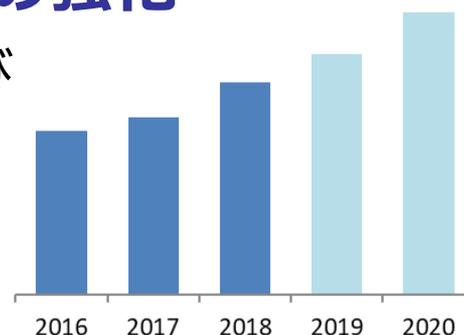
TPMS Eタイプ

### ■ 中国法制化

- ・'19年1月～新型車搭載
- ・'20年1月～継続車搭載が決定

### ■ 日・米・中3極生産体制の強化

- ・新タイプの生産・販売および中国法制化に併せ、生産能力の増強



TPMSの販売物量見込

### ■ 各地域の法制化の動き

地域	法制化開始時期
北米	2005年10月
欧州	2012年11月
韓国	2013年1月
台湾	2014年11月
ロシア	2016年1月
GCC	2017年モデル
中国	2019年1月
日本	未定

# 3-8 バルブ世界戦略

## バルブ事業で世界のリーディングポジション

### ■ 生産・販売で世界4極体制を実現

- ・欧米でブランドを確立しているSCHRADERバルブ事業が加わり  
日本・アジア・北米・欧州の4極での生産・販売が実現

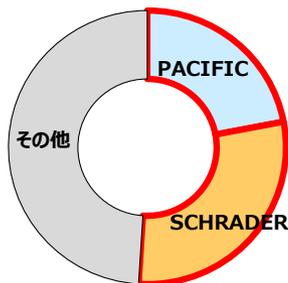
### ■ ブランド力の融合で世界No.1を目指す

- ・SCHRADERとPACIFICの技術・品質・サービスの  
優れた点を互いに取り入れ成長

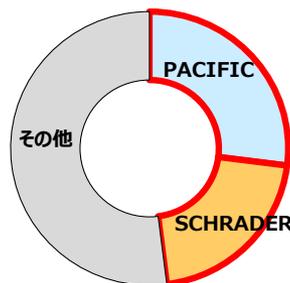
品目別グローバルシェア



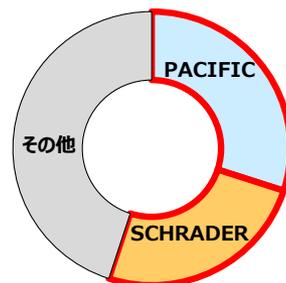
バルブコア



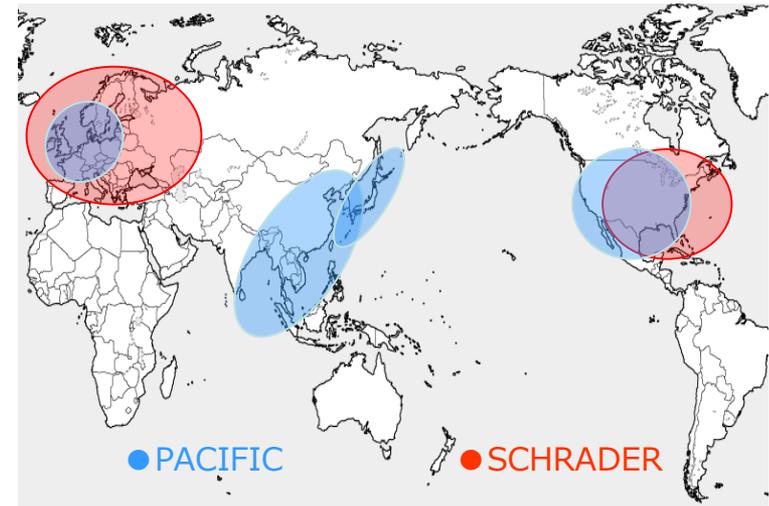
タイヤバルブ



チャージバルブ



世界4極体制の実現



## 3-9 シナジーの取組み

互いの優位点を取り入れ、バルブ事業に磨きをかける

### ■ グローバル視点での販売活動

- ・日米欧各エリアの顧客情報を共有し  
ニーズに即した製品を販売

### ■ 開発のスピードアップ

- ・相互の開発リソースと得意分野を  
最大限活用

### ■ 生産コストの改善

- ・生産・品質管理ノウハウを共有し、  
ものづくり力を向上



# 3-10 様々な用途で活躍する当社バルブ製品

グループの技術を結集し、多様なバルブを開発  
(圧力・流体制御技術、流体シール技術、電動制御技術)



ホットガス切替弁



エンジン燃圧バルブ



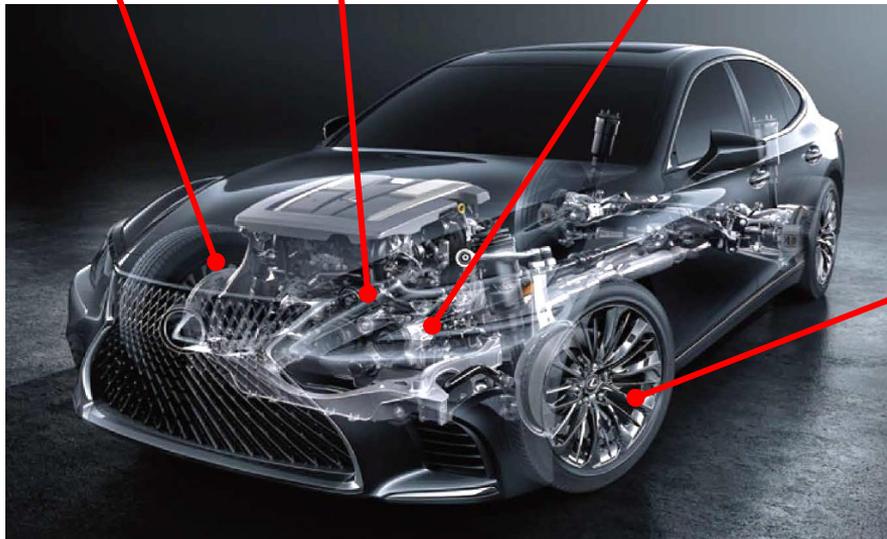
カーエアコン関連バルブ



航空機用バルブ



産業用バルブ



TPMS



タイヤバルブ



# 3-11 中期経営計画「OCEAN-20」

## トップクラスのGLOCALな部品メーカーを目指す



TPS…Toyota Production System CSR…Corporate Social Responsibility

# 3-12 100年企業をめざして（2030年）

## 持続可能な経営戦略

